

第 1 号議案 2018 年度事業報告

1. 概要

<この一年>

2018 年度は子どもが様々な理由で亡くなることに世間の耳目が集中しました。

保護者の虐待で子どもが死に至る、学校でのいじめで自殺する子どもが増えるなど、子どもをとりまく環境が改善していない状況が進んでいます。さらに中高年で引きこもる大人の実態も見え、子どものうちから、子どもや家庭を支える社会を地域住民でどう作っていくかを改めて考えることが喫緊の課題となってきました。

一方で名古屋市では、子どもの権利擁護のための第三者機関を設ける動きが進み、子ども&まちネットも他の団体とともに名古屋市に提言書を提出しました（「こまち通信」32号参照）。子どもが自分の考えを意見として提出していくには相応の力が必要ですが、その力がない子どもには大人が「アドボケイト」として寄り添う仕組みも必要で、提言書を取りまとめた団体でアドボケイトの研修を進めています。この動きが全国的に広まれば、子どもの権利保障は格段に前に進むと考えられます。

<主たる事業（事業詳細は次章で）>

自主事業および、千種区社会福祉協議会、およびコープあいちの助成を受けた「ワンストップひろば」事業は、今年は年 87 回を数え、親子のべ 936 人を超える人たちの利用がありました。

医療・研究・福祉・企業分野からメンバーを集めた「STEP プロジェクト」は、福祉医療機構の助成を受け、支援者・保護者対象の研修や出張講座を展開しました。講座はキャンセル待ちが出るほどで、福祉現場等で対応に苦慮していることがうかがえます。

<名古屋市青少年交流プラザ（ユースクエア）指定管理（事業詳細は次章で）>

指定管理者として選定され、緑区にある名古屋市青少年宿泊センターも一括管理となりました。2018 年度は、職員 2 名、非常勤職員 1 名が担当し、主に事業を担いました。

<そのほかの事業。他団体との協働など（事業詳細は次章で）>

名古屋市主催の「なごや☆子ども City2018」を今年も受託し、12 月の 2 日間、日本ガイシ・レセプションホールでのべ 1,022 人の子どもたちを集め「子どものまち」を展開しました。

<会員の状況>

正会員	個人：41 人、団体：2 団体	（昨年度個人：41 人、団体：2 団体）
情報会員	個人：5 人、団体：1 団体	（昨年度個人：6 人、団体：1 団体）
賛助会員	個人：7 人、団体：1 団体	（昨年度個人：6 人、団体：1 団体）
合計	53 人と 4 団体	（昨年度 53 人と 4 団体）

2. 事業の実施に関する事項

文中の敬称は略しました

①「こどもにやさしいまちづくり」のための手法開発と普及、支援、政策提言

名古屋市青少年交流プラザ指定管理	
事業目的	青少年交流プラザ（ユースクエア）における、主に若者の地域参画や自立に向けた体験活動などについて事業を企画し運営する。
実施期間	2017年4月～2020年3月の2年目
スタッフ	白川陽一・小島紫（常勤職員）、伊藤一美（非常勤職員）、水野真由美（理事）ほか
事業内容	<p>・ 公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会、NPO 法人 ICDS との三者のコンソーシアムで運営管理。</p> <p>・ 以下は2018年度の事業のうち、子まちが担当したもの。</p> <p>※ユースクエアでは、若者の支援プログラムを三段階にとらえ、まず人とつながり、次に、地域社会につながり、最後にはその地域社会に貢献できるような若者を育成するという段階を踏んだ支援事業を企画している。</p> <p>◆一層目：人につながる支援</p> <p>ユースクエアが心地の良い居場所であることを目指した事業の1つが「ぼくらのサードプレイス」。コミュニケーションが苦手という人が集まり、ゲームやワークショップで同じ場の人々と安心した人間関係をつむぐことをめざした。</p> <p>「なんでも TRY at ユースクエア」では、若者の興味関心を汲み、アニメやアクセサリーづくりを行った。やりたいことを掲示板に自由に書いて仲間をつくるアナログな手法をとっているが、功を奏している。</p> <p>「ミーティング・ファシリテーター入門講座」は、昨年に引き続き上井靖さん（A-sessions）に登壇いただき、ファシリテーションのキモを学んだ。また、この講座の参加者が核となって企画した事業「ファシリテーション合宿」も実施した。</p> <p>◆二層目：地域・まちにつながる支援</p> <p>プラザ企画委員会では、「ユースクエアまるはち夏まつり」「大曾根秋の街道フェスタ」「ユースクエアまるごとフェスティバル」等の企画・運営を行い、青少年をパートナーとした運営体制を構築した。名古屋市市民活動推進センター主催の「ぼらマッチ！なごや」にブース出展し、ユースクエアの若者が他施設・他団体との若者につながる機会をつくった。</p> <p>◆三層目：地域・まちに働きかける支援</p> <p>「ご当地キャラをプロデュース！」は、昨年に引き続き大曾根地区のマスコットキャラクター「おおぞねこ」を活用する企画を立案、運営した。「サステナまち計画～柳原通夏祭り編～」では、愛知学院大学・柳原通商店街振興組合等と協働し、商店街の夏まつりで実施する企画づくりを行った。「未来デザイン・ファシリテーター実践講座」では、社会に変化を起こすイノベーション・ファシリテーターとしての在り方を、入門編同様に上井靖さんから学んだ。</p> <p>このほか、「ユースカンファレンス」と銘打ち、ユースクエア・宿泊センターの両館で、利用した経験のある若者、ない若者に集ってもらい施設や事業の評価を行った。</p>

成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「なんでも TRYat ユースクエア」ではユースクエアを訪れた青少年が、企画立案する掲示板を設け、「いいね」シールを貼り、職員の応援を得ながら事業化。 ・「ファンリテーター入門/合宿/実践」に代表されるように、1つの事業がきっかけとなり複数の企画(事業)に展開する例も作っている。 ・昨年の事業「ご当地キャラでゴゴゴ！」をさらに充実・発展させた事業「ご当地キャラをプロデュース！」が実施できたほか、そこでのノウハウを別地域に応用した「サステナまち計画～柳原通夏祭り編～」を実施できたことも、大きな評価点であるといえる。 ・ユースクエアでは職員がサポーターとなり、事業企画を作った経験のない青少年がやってみたくて実現し、発展して地域に参画していくプロセスを経験できる機会を創出している。
-------	--

事業名	なごや☆子ども City2018
主催	名古屋市子ども青少年局
事業目的	なごや子ども条例に掲げられている、子どもの社会参画を推進する事業。社会の一員として自立し、想像する力、主体性、社会性を育む。
実施期間	本番:2018年12月23～24日
スタッフ	伊藤一美、水野真由美、鬼頭弘子、大西宏治(以上理事)、西村健、水野千鶴、横井寿史、小田奈緒美(以上会員)
事業内容	<p>2010年度から15年度まで市主催で行われてきた「子どものまち」事業を民間に委託。2016年度から2018年度は子ども&まちネットが受託している。子ども実行委員(小学校5年生～高校生世代)60人による事前会議6回、設営、本番を通して子どもの参画、キャリア発達を促進する。</p> <p>会場は日本ガイシ・レセプションホール。実行委員会は企画・ふりかえり含め7回実施し、子どもの相談日を3日、大人研修も3回行った。</p> <p>当日は、2日間で市内各地からのべ1022名を越える小中高生が参加。詳細は会員配布の報告書を参照。ボランティア120名、子まち会員(理事含む)8名、協賛企業は39社。</p>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの参加を促進する事業として、日本に広がる「子どものまち」事業。初めて参加する低学年の子どもやサポートが必要な子どもも保護者から離れて楽しめるための工夫を凝らした。民間が受託することにより、新たな協賛企業の開拓やインターネットを活用した情報発信や保護者との双方向の情報共有などが効果的に行われた。「なごや子ども条例」の市民への周知が広まらないなか、保護者向けに冊子を作成し広報した。子ども実行委員会でも「子どもの権利」を紹介した。 ・実行委員は自分のアイデアを実現する経験をし、低学年の参加について、「わかりやすい言葉を使うことを意識したが、それは自分たちにとってもわかりやすいことだった」と感想に書いている。

その他

事業名	岩倉市「子ども条例十周年記念事業 子ども条例十年のあゆみ～そしてこれから」
実施期間	2018年3月10日(日) 担当:伊藤一美(理事)
事業内容	日本でも早い時期に子ども総合条例が作られた岩倉市の記念事業。岩倉市の小学生や高校生の活動紹介に続き、伊藤が人口の小さい市まちだからこそ子どもに寄り添える実態をお伝えした。

委員：名古屋市次期総合計画有識者懇談会委員、名古屋市名古屋子ども・子育て支援協議会委員、大府市青少年問題協議会委員（以上伊藤）

②子ども・子育て・まちづくりに関する情報収集と発信事業

事業名	こまち通信、会員 ML（メーリングリスト）運営、サイト運営
自主事業	
事業目的	子まち会員への情報提供。会員相互の交流も兼ねる。
実施期間	サイト管理、FB 管理。「こまち通信」31 号 2018 年 4 月発刊、32 号 2019 年 1 月発刊
担当	こまち通信：伊藤一美(理事)、メーリングリスト：会員、サイト運営：西村健(会員)
事業内容	通信・ML とも事業の報告をはじめ、今後会員に知らせたい内容などを掲載。ML は会員同士の情報交流を目指す、年6回の発信にとどまった。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体による情報発信の「こまち通信」、HP やメーリングリストのあり方は、以前より課題になっている。 ・一方、フェイスブックなどへの閲覧は増えているため、SNS の活用にシフトしていく可能性も考えていきたい。

事業名	なごや子ども貧困白書
自主事業	
事業目的	日本では子どもの貧困率が6人に1人とされているが、愛知県では数字が小さい。しかし現状を見ていくと、看過できない問題があり、このエリアに限定した検証を行った。
実施期間	2016 年 12 月発刊
担当	奥田陸子、鬼頭弘子、伊藤一美(以上理事)、安藤純子(監事)
事業内容	愛知県、名古屋市エリアでの子どもの貧困状況について、胎児期から青年期までを年齢を追い、実態と支援のあり方を考える。
成果と課題	発刊から2年以上が過ぎてしまったため、各著者のデータが古くなりかけている。2019 年度中には頒布を完了していく必要がある。

③子ども・子育て・まちづくりに関する人々のネットワークづくり、コーディネート事業

事業名	ワンストップひろば「小さい子どものセンスオブワンダー」
自主事業、助成元（千種区社会福祉協議会（赤い羽根募金）、コープあいち福祉基金）	
事業目的	乳幼児期の子育ての不安の解消、仲間づくりなどを手伝い、子育て情報を伝える。また保護者同士の仲間作りをサポートする。
実施期間	自主期間：2018 年 5 月 1 日～8 月 31 日（社協助成を除く） 社会福祉協議会：2018 年 7 月 1 日～2019 年 3 月 31 日（「子どものからだ」学習会 5 回開催） コープあいち福祉基金：2018 年 9 月 1 日～2019 年 8 月 31 日（上記プログラム以外）
スタッフ、講師	戸谷令子、水野千鶴、寺本久美子(以上会員)、そのほか9名／水野真由美、伊藤一美(理事)

事業内容	・「自由遊び」「おはなし会」「親子ヨガ体験」「季節行事」「外遊び」「子どもの体を学ぶ」「乳幼児のいる家庭での災害対策」など多様なプログラムで、地域の乳幼児と保護者の居場所を作った。1年で全 87 回開催。子どものべ 481 名、保護者 455 名が参加。うち、新たに参加した保護者は 52 人となった。
成果と課題	・大和学区は少子化が進んで地域であるが、近隣で乳幼児を育てる保護者には友達作りの場となっている。多くの利用者がリピーターとなり、とりわけ 2018 年度は乳児の参加が増えた。 ・スタッフの確保、経費、外遊びを促進するプレイワーカーの不足が響いている。

事業名	子育てネットワーク千種 ミニ子育て広場
主催	子育てネットワークちくさ（事務局：千種区民生子ども課）
事業目的	区内の子育て支援関係機関等がネットワークを構築し子育て家庭への情報提供・相談の場、交流の場を作って子育てに喜びが感じられる地域社会への転換を目指す（規約より抜粋）
実施期間	2018 年度は7回行った。 ○6月13日（千種スポーツセンター）、○7月18日（東スポーツセンター）、○9月20日（児童館）、 ○10月16日（区役所講堂）、11月14日（千種文化小劇場）、12月4日（千種スポーツセンター）、 1月24日（香流橋地域センター） ○印が子ども&まちネット参加の日
担当	伊藤一美（理事）
事業内容	・手遊び、大型絵本、パネルシアターなど保育所が持つ資源で親子で遊ぶ場を作るほか、子育て相談、身体測定や、リフレッシュ保育制度の説明などを行う。 ・子まちは千種区の模造紙サイズの地図を持ち込み、参加者と地図をまんなかに話し合った。
成果と課題	・名古屋市内各区で支援ネットワークが構築され、それぞれが個性的な催しを行っている。 ・千種区は保育所主導で遊びの場を区内の公的施設で展開しており、楽しみにしている親子も少なくない。 ・区内で活動している NPO や子育てサークルがブース出展することなどは視野になく、一日限りのお楽しみになっている。アンケートを見ると、参加者は友だち作りをしたくて来場しているため、その目的に叶った企画も必要と考えられる。

その他

他の団体との連携、ネットワークづくり

名古屋市子ども・若者支援地域協議会

愛知県青少年育成県民会議

子育てひろば全国連絡協議会

NPO 法人子ども健康フォーラム

④ ①から③に関する研修・養成等企画運営事業

事業名	障がいのあるユースが学ぶ私の心と体
助成元	独立行政法人福祉医療機構
事業目的	「障がいのある子ども・若者が、地域で安心して暮らすために社会からの孤立を防止し、自己肯定感をあげる」ことを目的に、他者とのコミュニケーション力を身につけ自身を大切にする気持ちを育ていけるよう支援をする。
実施期間	2018年4月～2019年3月
担当	田中弘美、水野真由美(以上理事)、山崎恵美子(会員) 事業立案、運営は子ども&まちネットのほか、障がい児者の支援に関わる STEP プロジェクトメンバー。メンバーは、木全和己(日本福祉大学)、伊藤修毅(同)、竹内健悟((社福)ゆめネット)、鈴木由紀子((有)アシスト)、伊藤加奈子(産婦人科医)、市川恭平(養護教諭)、鉄井史人(特別支援校教諭)、秋好眞澄(障がいのある子どもの父母のネットワーク愛知)、戸谷令子(同)。藤原美保((株)スプレンドィード)。
事業内容	<p>保護者・支援者向けに研修(基礎研修・実践研修)を開催した。その後に研修参加者が、事業所などそれぞれの現場での行動や実践などを共有し合う「フォローアップ会」を開催。夏休みを利用して、学校現場で思春期を迎えた児童・生徒への対応に悩む教員向けの研修を開催した。研修に使用する「Study Book」(A4版76頁)を作成した。</p> <p>また、研修には来られなかった方なども含め、日ごろ事業者内や家庭内などで抱えている悩みや課題について気軽に話しあったり、情報交換などができる場として月に1回の「STEP サロン」を開催した。事業所等から出張講座の申し入れもあり対応した。</p> <p>◆保護者・支援者向け集中研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎研修 2018年11月11日(日)10:00～17:10 ウインクあいち(愛知産業労働センター)12階1201会議室 参加者:94名(障がい児者の支援や教育に携わる事業所職員、保護者、教員等) 講師:伊藤加奈子、木全和己、伊藤修毅 ・実践研修 2018年12月2日(日)9:30～16:30 名古屋市都市センター14階第一・第二会議室 参加者:48名(基礎研修を受講した障がい児者の支援や教育に携わる事業所職員、保護者、教員等) 講師:STEPプロジェクトメンバー ・フォローアップ研修 2019年2月17日(日)14:00～16:30 名古屋市都市センター14階第二会議室 参加者:13名(基礎研修または実践研修参加者) コメンテーター:木全和己

<p>事業内容</p>	<p>・ 教員向け研修 2018年8月27日(月)14:00～17:00 日本福祉大学名古屋キャンパス南館401 参加者:27名(主に名古屋市内の特別支援級・支援校の教諭) 講師:STEPプロジェクトメンバー</p> <p>◆STEP サロンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回目 2018年4月25日 10:00～11:50 参加者2名/子ども&まちネット事務所 ・第2回目 5月28日 10:00～11:50 3名/イーブルなごや ・第3回目 6月25日 10:00～11:50 5名/イーブルなごや ・第4回目 7月23日 10:00～11:50 なし/イーブルなごや ・第5回目 8月27日 18:00～20:00 10名/会場近隣飲食店 (教員向け研修後のふり返りと懇親会) ・第6回目 10月22日 10:00～11:50 2名/イーブルなごや ・第7回目 11月26日 10:00～11:50 1名/イーブルなごや ・第8回目 2019年1月28日 10:00～11:50 1名/イーブルなごや ・第9回目 3月4日 10:00～11:50 13名/名古屋市都市センター (拡大サロン:親の会と共催)
<p>成果と課題</p>	<p>・2016年度、WAM助成で研修を2回開催した際、参加者からより長く深く学びたいとの声が多かったので基礎研修1回と実践研修1回(計2回)を計画した。基本となる座学をしっかり学んだ後、それぞれの現場でどう取り組むかを検討し、グループに分かれて与えられたテーマで10分の講座を作り、発表するというプログラムとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科医の講座の評価が高く、医学と福祉の両面を学ぶことへの満足度が高かった。 ・基礎研修の前に「現状の知識」を図るミニテストを実施し、研修後に同じテストを再度実施した。解答に大きな変化が見られ、参加者の意識の変化が明確に表れた。 ・研修は、申し込みが早い段階で定員に達し、キャンセル待ちが出るなどニーズは高い。

その他

事業名	出張講座
<p>事業内容</p>	<p>2018年</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月23日(土) 名古屋市北区楠小学校・親の会 講師:田中弘美 9月8日(土) 楠小学校・親の会 講師:田中弘美、竹内健悟 9月22日(土) 楠小学校・親の会 講師:田中弘美、竹内健悟 12月3日(月) 名古屋市緑児童館(職員向け) 講師:田中弘美 <p>2019年</p> <ul style="list-style-type: none"> 1月26日(土) 名古屋市緑児童館(ユース向け) 講師:田中弘美 3月16日(土) 名古屋市緑児童館(ユース向け) 講師:田中弘美

3. 会議の開催に関する事項

(1) 総会

通常総会

1、開催日および場所

日時:2018(平成30)年6月23日 18時～18時45分

場所:イーブルなごや第7研修室

2、議題

- 第1号議案 2017年度事業報告の承認について
- 第2号議案 2017年度事業決算の承認について
- 第3号議案 任期満了に伴う役員を選任について
- 第4号議案 法改正に伴う定款変更について
- 第5号議案 2018年度事業計画の議決について
- 第6号議案 2018年度予算計画の議決について

(2) 理事会

第1回 理事会

1、開催日および場所

日時:2018(平成30)年6月23日 17時

場所:イーブルなごや第7研修室

2、議題

- 第1号議案 2017年度事業報告、決算報告
- 第2号議案 任期満了に伴う役員を選任について
- 第3号議案 法改正に伴う定款変更について
- 第4号議案 2018年事業計画、予算計画

第2回 理事会

1、開催日および場所

日時:2018(平成30)年6月23日 19時～ / 場所:イーブルなごや第7研修室

2、議題

- 第1号議案 理事長の選任

第3回 理事会

1、開催日および場所

日時:2018(平成30)年11月2日 18時～ / 場所 111こどもプロジェクト

2、議題

- 第1号議案:2018年度事業進捗
- 第2号議案:そのほか報告事項
- 第3号議案:次年度計画等

第4回 理事会

1、開催日および場所

日時:2019(平成31)年2月23日 18時～ / 場所 111こどもプロジェクト

2、議題

- 第1号議案:2018年度事業進捗
- 第2号議案:そのほか報告事項
- 第3号議案:次年度計画等